

令和2年度 3年（ビジネス情報）臨時休業中（～5月6日）の課題

3年（ ）組（ ）番
氏名（ ）

*教科書P6～P17を参照して、以下の問いに答えなさい。*授業初日に提出すること

問1. 下記の説明文の()に当てはまる最も適切な語句を下記の語群から選び答えなさい。教科書P.6～8

- (1) 企業は目的を持って経済活動を行う組織であり、その目的達成のために、さまざまな構成要素が連携しあって目的を達成する仕組みを（ ）という。
- (2) 会計システムのように情報を効率的に記録・加工し、利用するためのシステムを（ ）と呼ぶ。
- (3) 仕入・製造・販売などの企業活動の中心となる業務（ ）を処理する（ ）は、業務の効率化を図るための代表的な例である。
- (4) 情報システムの導入にあたっては、会社全体の活動を（ ）に計画する経営戦略の実現のために、情報システムをどう構築するかという（ ）を策定することが大切である。
- (5) 業務がどのように行われているかを把握する。(中略) そのための技法として（ ）や（ ）などがある。
- (6) 把握した現状の業務活動のなかから、問題のありかとなる箇所を探し出す。(中略) データ収集の方法としては、すでにある文書は資料を調査する資料調査やアンケート、（ ）などがある。(中略) 整理の技法には、データのグラフ化、ヒストグラム、（ ）、（ ）などの図式化の技法や、（ ）がある。

【語群】

情報システム戦略	情報システム	基幹業務	システム	長期的
基幹業務システム	パレート図	E-R図	Wi f i	短期的
ブレインストーミング	K J法	心の地図	DFD	散布図

問2. 明らかになった問題点を解決する複数の代替案を策定し、そのなかから最適のものを選択して実施する。そこで、数値的なモデルを作成して最適な解決策を導き出す技法をカタカナ12文字で答えなさい。P.9

問3. 下記の説明文の()に当てはまる最も適切な語句を下記の語群から選び答えなさい。P.9～10

- (1) ビジネスの課題を解決し、業務を改善するために利用されている情報システムなどを（ ）とよぶ。従来は、（ ）や販売システムのように業務別のシステムが開発されていたが、近年は、これらの（ ）を統合したシステムや(中略)システムの構築が進んでいる。
- (2) （ ）は、店舗での販売情報を即時に記録し、仕入れや販売計画に活用・処理するシステムである。
- (3) （ ）は、顧客の情報を（ ）し、顧客へのサービス向上や販売促進に活用するシステム。
- (4) （ ）は、企業の営業部門を効率化するシステムである。

【語群】

会計システム	ビジネスシステム	基幹業務	POSシステム	SUICA
会合システム	CRMシステム	一元管理	SFAシステム	PONTA

問4. 下記の説明文の()に当てはまる最も適切な語句を下記の語群から選び答えなさい。P.11～12

- (1) 原料から製品が消費者の手に届くまでの一連のビジネス活動のつながりをカタカナで表記すると（ ）となり、漢字では（ ）とよぶ。（ ）は、この（ ）でむすばれた企業間で、製品の（ ）にもとづく製造情報などを共有して、品切れや余剰在庫をおこさない効率的な需要と供給の関係を構築しようとするシステムである。

(2) () は、企業経営に必要な情報を () に管理することによって効率的な経営活動を行おうとする経営手法である。この実現のために、財務や ()、在庫管理など、企業に必要なほとんどの機能を () によって一元管理できるように統合したシステムを構築する。近年は、 () と呼ばれる () が開発され、これを採用する企業が増えている。

【語群】

ボランタリーチェーン	FRP	供給連鎖	SCMシステム	POS
サプライチェーン	ERP	統合的	ERPパッケージ	販売
データベース	TPP	需要予測	パッケージソフトウェア	仕入

問5. 下記の説明文に該当する語句を答えなさい。P. 16～17

	説明文	用語
1	システムの故障回数が少ないこと	
2	一定期間にシステムが正常に使える時間の割合が高いこと	
3	故障の際の修復時間が短いこと	
4	稼働開始から次の故障が生じるまでの平均時間	
5	故障の修復にかかる平均時間	
6	システムの一部が故障してもその被害を最小限に抑えて、システムとして稼働し続けるように設計する考え	
7	同じ機能を持ったシステムを2系統用意し、常に同じ処理を行わせる方式	
8	主系が故障した場合に、従系に切り替えて処理を継続する方式	
9	障害による被害を最小限に抑えて安全性を確保するようにシステムを制御する考え方	
10	停電の発生時に、システムが安全に停止できるように自動的に制御する機能を持った装置	
11	誤操作を起こさないようにする設計や、もしミスをしたとしても重大な障害が起こらないように設計する考え方	
12	情報の漏洩が起こらないように情報やデータなどが保護されていること	
13	情報の改ざんが無い正確な状態を維持すること	
14	承認局と呼ばれる第三者機関がデータの作成者を証明するしくみ	
15	コンピュータやAV機器をつなぐ高速なインターフェース規格	
16	企業活動において法令を遵守すること	
17	その活動が社会に与える影響	
18	経営者の責任や監査体制を明確にし、違法行為や不祥事などを防ぐ健全な企業運営を行うこと	
19	企業などが国際規格に定めた要件を満たしていることを承認する評価機関	
20	標準化団体が定めた規格でないが、多数が利用することによって事実上の標準となっている規格	